

事業評価調書(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度:令和7年度)

政策	1 未来づくり			
施策	3 誰もが自分らしくいられる魅力ある地域社会を構築する			
方向性	① 多様性に満ちた社会づくり ② 若者・女性が自分らしさを発揮できる環境づくり			
事業名	あきたジェンダー・アクション推進事業	事業年度	R8	年度～ 年度
部局名	あきた未来創造部	課室名	次世代・女性活躍支援課	
チーム名	女性活躍・両立支援チーム			

1 事業実施の背景及び目的

本県の社会減において、特に女性や若い世代の県外転出では、進学先や就職先の選択肢の少なさに加え、固定的な性別役割分担意識による生きづらさ等が理由として挙げられている。多様化する生き方や働き方に対する地域社会の更なる理解が必要であることから、企業・地域・行政等が一体となって行うジェンダーギャップ解消に向けた取組を推進する。

2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和8年度 予算額	令和7年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	あきたジェンダー・アクション推進事業	ジェンダーギャップ解消に向け、地域や企業における現状や課題に応じた取組支援等を行う。	7,647		
2					
3					
4					
5					
その他合計 (件)					
財源内訳			7,647	0	0
左の説明					
国庫補助金					
県債					
その他					
一般財源			7,647	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名	取組支援によりジェンダーギャップの解消の必要性について理解が深まった者の割合(%)【成果指標】									
指標式	取組支援後のアンケートで、ジェンダーギャップ解消の必要性について理解が深まったと回答した者の割合									
出典	次世代・女性活躍支援課調べ									
把握時期	当該年度3月									
年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
目標a								80	80	80
実績b										
b/a								0.0%	0.0%	0.0%

【指標Ⅱ】

指標名										
指標式										
出典										
把握時期										
年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
目標a										
実績b										
b/a										

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度:令和7年度)

政策	1 未来づくり		
施策	3 誰もが自分らしくいられる魅力ある地域社会を構築する		
方向性	② 若者・女性が自分らしさを発揮できる環境づくり		
事業名	シン・若者チャレンジ応援事業	事業年度	R8
			R12
部局名	あきた未来創造部	課室名	地域づくり推進課
チーム名	調整・地域活性化チーム		

1 事業実施の背景及び目的

人口減少が進む中、世代や地域を超えて大きなパワーやエネルギーをもたらす若者の斬新な発想や大胆な行動力を、社会の幅広い分野に取り込んでいく必要がある。若者活躍の裾野を広げ、次代の地域の中核を担う人材を育成するため、若い世代の地域活性化に向けた取組を支援する。

2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和8年度 予算額	令和7年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	シン・若者チャレンジ応援事業	若者活躍の裾野を広げるための相談体制の強化や、企画実現に向けた補助金等による支援の拡充を行う。	13,835		
2	若者チャレンジ応援事業(継続支援分)	若者ならではの斬新なアイデアを活かした戦略的な取組を支援し、地域の活性化を図る。(令和7年度採択者の継続支援)	12,314		
3					
4					
5					
その他合計 (件)					
財源内訳			26,149	0	0
左の説明					
	国庫補助金				
	県債				
	その他	地域活性化基金	26,149		
	一般財源		0	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名	県事業により若者のアイデアが実現につながった件数(件)【成果指標】									
指標式	県事業により若者のアイデアが実現につながった件数									
出典	地域づくり推進課調べ									
把握時期	翌年度5月									
年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
目標a								20	20	20
実績b										
b/a								0.0%	0.0%	0.0%

【指標Ⅱ】

指標名										
指標式										
出典										
把握時期										
年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
目標a										
実績b										
b/a										

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度:令和7年度)

政策	6 教育・人づくり			
施策	4 地域社会の発展と産業振興に資する高等教育機関を活性化する			
方向性	② 次代の社会を担う学生の確保と人材育成の促進			
事業名	私立大学等地域人材育成支援事業	事業年度	R8	年度～
			R10	年度
部局名	あきた未来創造部	課室名	あきた未来戦略課高等教育支援室	
チーム名	高等教育支援チーム			

1 事業実施の背景及び目的

県内の私立高等教育機関は、人口減少や少子化の進行のほか、コロナ禍以降の県外指向の高まり等のため、入学者数の減少、県内就職率の減少といった課題に直面している。各学校による地域を支える人材の輩出を促進するため、産業界や地域のニーズを踏まえた人材育成や、卒業生の県内定着を図る取組に対して支援する。

2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和8年度 予算額	令和7年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	私立大学等地域人材育成支援事業	県内企業との連携や、地域フィールドワーク等による人材育成のほか、就職説明会等の県内就職者の増加を目指す取組に対して支援する。	15,045		
2					
3					
4					
5					
その他合計 (件)					
財源内訳			15,045	0	0
国庫補助金					
県債					
その他					
一般財源			15,045	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み
【指標Ⅰ】

指標名	補助対象校卒業生の県内就職率(%)【成果指標】									
指標式	補助対象校卒業生のうち県内就職者数/補助対象校卒業生の全体(県内+県外)就職者数×100									
出典	高等教育支援室調べ									
把握時期	翌年度5月									
年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
目標a								71	72	73
実績b										
b/a								0.0%	0.0%	0.0%

【指標Ⅱ】

指標名										
指標式										
出典										
把握時期										
年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
目標a										
実績b										
b/a										

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法
①指標を設定することができない理由
②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)